

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年3月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677500094
法人名	医療法人 おさしお会
事業所名	グループホーム きらら
所在地	鹿児島県鹿屋市吾平町麓3766番地1 (電話) 0994-58-5859
自己評価作成日	平成31年2月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年3月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・当ホームは、老人保健施設、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護の事業所と隣接しています。その為、いろいろな専門職からの助言を頂きご利用者の状態の変化や意向によるサービス方法を考え対応できる環境にあります。健康管理では、月2回訪問診療があり、主治医や看護師と連携を図り、ご利用者の体調の変化に対応できるように努めています。行事などにご利用者が少しでも喜んで頂けるよう、誕生会をはじめ運動会、水族館見学を行い、ご家族参加の運動会、食事会を行い、その際ご家族への近況報告などを行う家族会を開いています。また地域交流という事で、地域の方との消防訓練、保育園との交流会、小中高のボランティア活動を行い、その際にご利用者もとても楽しまれています。また地域推進会議では貴重な意見を頂き、参考にさせていただきます。これからも、ご利用者が地域で安心して生活できるよう心がけスタッフ一丸となり努力していききたいと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は同一敷地内に隣接している老人保健施設や複数の事業所から、看護職員や理学療法士等の専門的な助言・協力が日常的に得られている。運営母体である医療法人は、系列の社会福祉法人を含め地域の医療・福祉の中心を担っている。

・自治会に加入し、地域の一員として総会や清掃活動に参加する他、地域の文化祭には作品を出展している。地域住民の竹とんぼやひょうたん作りのボランティア、保育園児・小学生との交流、中学生の職場体験学習・高校生の実習受け入れ等、様々な年齢や幅広い地域との交流に取り組んでいる。住民からの野菜の差し入れもある。

・グループ内での異動等により職員間の交流が図られており、コミュニケーションも良好である。資格取得や研修受講の支援により職員の質向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念はいつでも確認できるように提示し、ご利用者様が地域で安心して生活できるように職員も努めています。	理念を玄関やホールの目につきやすい場所に掲示し、職員各々で確認している。理念を再検討する計画である。毎月の職員会議とミーティング時にケアの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の文化祭見学、作品出展、地域の方しか都度への参加や地域の方との消防訓練を行っています。	地域の一員として、自治会の総会や清掃活動、地域の文化祭や運動会に参加している。ボランティアや保育園児・小学生との交流、中学生の職場体験学習、高校生の実習の受け入れ、近隣住民から野菜の差し入れもある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	学生の方の職場体験やボランティア活動時に交流などを通し認知症の話を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2カ月1回の運営推進会議では、利用者様の近況報告や地域での関わり方などの助言を頂きサービスの向上に活かしています。</p>	<p>会議は定期的を開催し、事業所のヒヤリハットを含めた状況報告と意見交換を実施しており、地域行事や行政からの様々な情報を得る機会となっている。昨年の夏は、脱水症状や水分摂取についての情報・助言をケアに活かし、無事に過ごすことができた。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市が開催する研修等への参加。担当者の方々と連携を図り、サービスの取り組みなどを伝え協力関係が築けるよう努めています。</p>	<p>市の担当者とは、運営推進会議時の意見交換や直接出向いて相談する等、日頃から連携を密に取っている。市の研修会や徘徊模擬訓練に積極的に参加し、協力関係を築くように努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>研修会や勉強会を行い、DVDなどを見て具体的な種類や方法を確認し、拘束しないケアに取り組んでいます。</p>	<p>年2回法人での身体拘束委員会の研修活動があり、ホーム独自でもマニュアルや具体的な事例により、身体拘束や虐待防止に対する勉強会をしている。職員のネームに拘束3原則等を記載し、拘束をしないケアに取り組んでいる。不適切な言葉は気付いた時に管理者から注意をしている。日中、玄関は施錠せず、外に出る利用者には散歩やドライブをしたり、法人全体の職員の見守りで対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	研修や勉強会を行い確認を行っています。スタッフのネームの中に介護虐待の種類や内容の紙を入れ確認し防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度について勉強会を行い、活動できるよう取り組んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用料金の説明、入居契約、重要事項を説明確認をし、理解同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情窓口を表示、設置しています。家族会ではアンケートや会議を実施しています。利用者様は日々の生活を通して確認、会話を行い反映させて頂いています。	利用者には、日常の会話で意見等を聞いている。家族には、面会時や電話・運営推進会議・家族会・家族向けのアンケートを実施し、出された意見は家族に報告している。「職員が付き添って歩行訓練をして欲しい」との要望に、理学療法士の助言で事業所の生活リハビリへの利用を取り入れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	きららセクション会議を開きその中でミーティングノートを活用し、併設事業所の運営推進会議で意見や提案を聞く機会を設け、反映できるように努めている。	毎月のミーティング時に、職員の意見等を聞く機会を設けており、古くなった椅子の買い換えや車椅子対応のシャワーチェア購入に反映させている。個別相談は、管理者が日常業務の中で受けて対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	希望公休や有休を取得しやすい環境を作り、必要時の勤務交代ができるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部、内部の研修に参加しやすいような環境づくりに努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	併設の事業所などの研修会、交流会に参加し情報交換を行っています。得られた情報で質の向上に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様、ご家族、関連事業所の情報提供と利用者様と会話で表情や雰囲気などで少しでも不安や困っていることにきずくことで良好な関係が作れるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の意向や困っている事、不安に思っていることを聞き丁寧に確認を行っています。また、少しでも不安がないように些細なことでも連絡し報告できるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族から得られた大切な情報を元に、スタッフ間での情報共有を行い検討し、不安な気持ちの軽減に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活で出来る掃除や洗濯たみなどをスタッフと行い、良好な関係づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や家族会などでホームでの状況報告を行っています。ご家族様には自宅での生活歴や情報を聞きながら、ご本人を支えて行ける関係を築けるよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域行事や文化祭への参加を行い馴染みの方や知人との交流に努めています。ドライブなどの外出時等住み慣れた所を通るようにしています。	自宅付近へのドライブや家族の協力で美容室・墓参り・外食等にでかけたり、面会時には居室でお茶を飲みながら歓談している。隣接事業所との相互訪問や地域行事で知人と交流することもあり、手紙や電話利用を含め、これまでの生活や関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操やレクリエーションなどの声かけを行い利用者間の交流に努めています。耳の遠い意方や意思疎通が図りにくい方にはスタッフが間に入り関わりが築けるよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や転居された方への面会や連絡を行い様子を伺い確認を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で定期的、必要時に面接でお話していることを大事にしています。またご家族にも協力を頂いています。	家族等の情報を参考に、日常の何気ない会話や表情・目の動き等から、本人の思いを汲み取るように努めている。得られた情報は、ミーティングノートや申し送りの記録を共有し本人らしい生活目標達成に向けて取り組んでいる。困難な利用者には表情やしぐさに注意し思いを把握し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様やご家族、担当ケアマネージャーから生活歴や生活環境を聞き把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人様に日課や流れをお伝えし、本人様のペースで過ごせるよう努め、体調や心身状態に合わせて1日過ごして頂けるよう努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様やご家族からの意向確認、達成状況を確認し、安全に力が発揮できる援助方法を検討しています。	本人・家族・職員・関係者で担当者会議を実施し、介護計画を作成している。6ヶ月毎にモニタリングを実施し、計画の見直しに繋げており、状況変化時にも現状に即した計画の見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個々の変化や様子を毎日介護計画に記録し、ミーティングノートや申し送り等でスタッフの情報共有できるよう努めています。提供した状況を踏まえ介護計画の見直しを行っています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>新しいニーズは、職員間で検討を行っています。その中で併設事業所の専門職からの助言や家族からのアドバイスを頂き、柔軟な支援、サービスを提供できるよう努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の文化祭や出展、地域の生徒さんや併設事業所の皆さんとの交流に参加し、楽しく充実した時間を過ごせるよう支援を行っています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月2回の訪問診療を行い、主治医との連携が図れる体制を整備しています。本人様やご家族の希望時がある際は、主治医に相談し、他科受診を行っています。</p>	<p>契約時に本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。母体医療機関からの月2回訪問診療及び24時間医療連携で適切な医療が受けられるよう支援している。他科受診は家族の協力も得て対応し、職員同行の場合は結果を家族に報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ご利用者に変化がみられた場合は、母体医療機関の看護師に報告し、適切な受診や医療が受けられるように努めています。また、併設事業所の看護師へ相談も行っています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は医療機関への情報提供や定期的に担当の方と連絡、相談を行い、利用者、ご家族が安心して治療ができるよう努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期については、入居前や入居時に指針をもとに説明を行っています。重度化となった場合は、主治医、ご家族を交えて話合を行っています。また当ホームでは看取りは行っていないので、併設事業所への案内も含め、検討しています。</p>	<p>契約時に、重度化等の場合の対応について、利用できる選択肢も含め説明し同意書を得ている。重度化等の場合、主治医から病状を説明し、家族の意向を確認している。状況変化に応じて段階的に家族の意向を確認しながら、意向に沿って支援に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルを元に対応のシュミレーションを行っています。また、救急搬送に備えて救急隊への提供カードを作成してしまふ。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な自主訓練や併設事業所との合同訓練を行っています。また、地域の方も参加もいただいています。</p>	<p>年2回の避難訓練を昼夜想定で実施し、1回は消防署の指導を受けている。法人の合同訓練にも参加し、自主訓練は地域住民の参加協力を得て実施している。災害用の備蓄は水・食料等を隣接の老人保健施設で一括して確保しているが、今後は、事業所でも備蓄する計画である。老人保健施設が地域の避難場所になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会などでスタッフの意識の統一を図り、お一人お一人の人格を尊重しプライバシーを損ねないように努めています。その中で声の掛け方など注意し対応しています。	法人で勉強会を実施している。さん付けでの呼びかけや入室時の声かけ、排泄介助時はカーテンを閉める、希望により入浴時の同性介助を行う等、プライバシーや誇りを損ねない言葉かけや対応に努めている。職員間の情報交換は利用者の居ない所や名前を出さずに連携を取っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声かけには答えやすいように工夫を行い、自己決定が行いやすいよう環境づくりに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	定時などで体調の確認を行い皆様が自分のペースで過ごせるよう希望を聞き支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人様の意向を確認しながら、お気に入りの物を身に着けていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者様の嗜好や食事の感想を確認しながら季節の食材やかたよらないメニューを考え、食事前後には、準備や後片づけの協力を頂いています。</p>	<p>利用者の希望を聞き、職員が献立を作成している。旬のものを使って、ミキサー食・刻み食等の食事形態を工夫している。下ごしらえやテーブル拭き・保存食作りを利用者と一緒に行っている。誕生日の手作りケーキや季節毎の行事食、庭での食事会や弁当・外食等で目先を変え食事を楽しんでもらえるよう工夫している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者様の食事内容や形態、援助方法を検討し提供しています。摂取量や排泄確認を行い体中の増減も十分に注意しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>義歯や残歯の状況により、残存機能に応じて支援を行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄状況を確認を行いながら、声かけや誘導を行い、パットの種類など検討し、本人様が気持ちよく排泄できるよう努めています。</p>	<p>排泄チェック表があり、声かけや見守り誘導を行っている。日中はトイレでの排泄を支援している。夜間はパット交換やポータブルトイレを状況によって使用し、利用者に負担のないようにしている。尿とりパッドはその人に合ったものを検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多く取り入れるように心がけ、水分補給に確保のため声かけや提供方法を工夫しています。また定期的に体を動かすという事でラジオ体操などを行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週3回提供し、ゆっくり入って頂けるよう1対1の入浴を提供しています。また希望、必要時にも提供ができるよう努めています。	週3回の入浴を基本に、好きな時間帯で入浴を楽しんでいる。希望や身体状況に応じて同性介助・2人介助で対応したり、体調により、清拭や保清目的のシャワー浴も実施している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日課後に声かけを行い、テレビ観賞や居室で休まれたりして過ごされています。また睡眠状況をスタッフ間で共有し利用者様の身体への影響についても配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬の内容や用法、用量を確認しながら、必要時にはお薬の内容をお伝えし服用して頂いています。また、提供時はスタッフ2人で薬の確認と氏名の確認を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除や洗濯たたみのお手伝いをもらい、毎月の創作活動、レクレーションなどにより充実した時間が過ごせるよう努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節行事など屋外での活動を計画し外出する機会を設けています。また、ご家族と外出できるように準備やお手伝いを行っています。	気候の良い時は、敷地内を散歩したり、庭のベンチで日光浴をしている。年間計画で、初詣・花見・地域行事参加・水族館・外食に出かけ、家族が同行することもある。その日の状況でドライブに出かけたり、家族と墓参り・外食等に行く利用者もいる。できるだけ出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人様の意向があれば、ご家族に相談を行い、お金を所持されています。本人様の希望があればスタッフと買い物に行かれることもあります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望時や必要時には電話連絡の支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎朝掃除を行い不快な環境にならないよう心掛け、季節感がある展示物や行事等の写真をホールに展示しています。また交流がしやすい環境を心がけ座席の調整を行っています。	ホールは、天井が高く高窓からの採光で明るく、広い廊下と合わせて開放的な空間が広がっている。季節感のある作品や行事の写真を飾り、好きな場所で過ごせるようにソファや椅子の配置を工夫している。廊下の足元灯や手すりの蛍光テープ等、安全面にも配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間ではテレビを見たり、いつでも交流ができるようソファやテーブルを調整を行い利用者同士が心地よく過ごせるよう努めています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使い慣れた物や安心できるものはご家族に相談し持ってきて頂いています。	居室には電動ベッドやタンス・エアコンがあり、トイレも設置されている。寝具はリースで清潔に保たれている。本人の好みや必要に応じて、神棚やテーブル・椅子・洋服掛け等を置いたり、写真や作品を飾って安心して過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の名前の表示や利用者様が使用される場所に手すりの設置を行っています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない